

余市町介護支援ボランティアポイント事業広報誌

第1号
平成31年
2月発行



北海道新聞の取材がありました

取材先 介護老人保健施設よいち

介護老人保健施設よいちでは、次のようなボランティア活動を行っています。

- ① 囲碁 ② 麻雀 ③ 手工芸 ④ カラオケ ⑤ ふまねっと
- ⑥ 職員の間接的業務の手伝い等

取材の日は琴田昭さん(写真上)と月館順子さん(写真下)、そしてこの日が初日の飯野博さんが活動をしていました。



ホールでは、琴田さんが通所利用者様と麻雀卓を囲んで活動をされていました。利用者様のお話では、「琴田さんは(麻雀の)師匠です」と頼りにされていました。また職員の方は、「琴田さんに来ていただく前は職員が相手をしており、業務の関係で何度も抜けなければならぬ事が多かったですが、琴田さんに来てい

祝！創刊号発行

みなさん、こんにちは。余市町介護支援ボランティアポイント事業が始まり、一年が経ち、施設の利用者様にも好評を頂いています。これも登録者の方々や受入施設の皆様のご協力のおかげであると思っております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年十二月に開催された介護支援ボランティアポイント事業研修会の中で「活動状況が知りたい」という声が多く聞かれました。そこで、広報誌を作成し、活動の様子や様々な情報などを皆様にお知らせすることになりました。

楽しく読んでいただけるような紙面を作り上げていきたいと思っておりますので、「意見・感想」などがありましたら、社会福祉協議会までお寄せください。



活動状況報告 その①

(平成30年12月末現在 12月新規登録者も含む)

事業登録者 58名

活動者(平成30年ボランティア実人数)

24名(男性11名 女性13名)

今後、登録されている方がボランティア活動に参加できるよう、新たに受入施設を追加して、活動の場を増やしていけるようにします。



ただいからからは、そのようなこともなくなり、利用者様も喜んでいただいています」と話されています。

別のホールでは、月館さんが手工芸を利用者様と職員の方と一緒に行って行っていました。月館さんが習っていた手工芸は介護予防にもつながると思います、このボランティア事業に参加していただけたと思います。利用者様からは、とても人気の高い活動となっており、この日、参加されていた九十二歳の利用者様は、「この活動を楽しみにしている」と、とても楽しそうに参加されていました。

このように、ボランティア登録をされている方、利用者の方、この事業の目的であります「地域ボランティア活動を推進すること、元気な高齢者を増やす。」きっかけとなるよう、事業の運営をしたいと思えます。(右上の写真は月館さんや利用者様が作成した作品です)

取材の記事は、一月二十五日の北海道新聞、後志版に掲載されましたので、コピーを同封させていただきます。

編集後記

この度、この広報誌を作成いたしました、吉野真弘(よしのまさひろ)です。年齢は四十三歳。趣味は剣道です。週二回、総合体育館で少年団の子どもたちと一緒に稽古をしています。大学卒業後は、道内の児童養護施設で、約二十年働いていました。が、昨年の四月より余市町社会福祉協議会で勤務させていただいています。まだまだ未熟ではありますが、宜しくお願い致します。今後、この広報誌を通じて、皆様の活動の様子をお伝えしていきたいと思っております。

インフルエンザが大流行しております。まだまだ寒い日が続きますが、お体に十分、お気をつけ、この冬をお過ごしください。



発行：余市町社会福祉協議会

〒046-0011 余市町入舟町 400 番地

余市町福祉センター入舟分館内

TEL 0135-22-3156

FAX 0135-23-3664

余市町社会福祉協議会

ホームページ アドレス

<http://yoichi-syakyo.or.jp>

実施主体：余市町民生部高齢者福祉課

TEL 0135-22-2119

活動状況報告 その②

登録者の主な活動内容

- ・麻雀・囲碁・将棋・手工芸・ふまねっと運動
- ・カラオケ(機械操作補助など)・外出同行
- ・お菓子づくり・食事の配膳、下膳 などなど…

受入施設

- ①介護老人保健施設 よいち
- ②特別養護老人ホーム ルーツヤト・よいち
- ③デイサービスセンター ルーツヤト・よいち
- ④デイサービスセンター ぷらっとよいち
- ⑤デイサービスセンター よいち銀座はくちょう
- ⑥高齢者グループホーム ルーツヤト・よいち
- ⑦小規模多機能型居宅介護 ほっとハウスよいち
- ⑧養護老人ホーム かるな和順